

## 平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

自らの個性・能力を磨き、激動する社会の変化に対応できる活力あふれる人材を育成する学校

- 1 主体的に学ぶ姿勢、学ぶ喜びや探究心を育み、自己実現の達成を図る学校
- 2 人権意識、国際感覚を身につけ、豊かな人間性を育てる学校
- 3 教育活動の充実した地域から信頼される学校

## 2 中期的目標

1 主体的に学ぶ姿勢、学ぶ喜びや探究心を育み、自己実現の達成を図る学校

(1) 主体的に学ぶ姿勢、学ぶ喜びや探究心を育む

ア 「教科の魅力伝える・生徒の意欲を引き出す・これまでの成果を活かす」授業改善の実践

イ 生徒・保護者・地域の期待に応える教育課程の編成と実施

※ 学校教育自己診断「授業はわかりやすい」「教え方を工夫している」の肯定的評価を 2021 年には 75%以上にする

※ 学校教育自己診断「学習時間を確保するよう努力している」を 2021 年には 70%以上にする

(2) 自己実現の達成を図る

ア 「総合的な学習の時間」「総合的な探究の時間」の充実

イ 生徒の多様な進路選択に応える

ウ 自学自習する姿勢を育み、主体的な学習者を育てる

※ 国公立大学、有名私立大学(関関同立)の現役進学率を 2021 年度に 35%以上にする

※ 「総合的な探究の時間」への満足度を 2021 年には 80%以上にする

(3) 英語 4 技能を育成し、「使える英語」を獲得する

ア 少人数・習熟度別授業と英語力の測定

イ 「英語力」を高める取組み実施

※ 英語学力調査の継続実施により、4 技能の向上を図る

※ 少人数授業への満足度を 2021 年度には 85%以上にする

2 豊かな人間性の育成

(1) 人権感覚を育成し、他者理解のできる真のリーダーとしての資質を育む

(2) 国際交流を推進し、国際感覚を備えた人材の育成を図る

(3) 集団の中での役割を意識し正しく行動できる姿勢を育てる

※ 学校教育自己診断の「人権について学ぶ機会がある」の肯定的評価が 80%以上をめざす

※ 部活動加入率 90%の維持 生徒会活動、学校行事への満足が 80%以上となることをめざす

※ 国際交流への満足度が 90%以上を維持できるようにする

3 地域から信頼される学校づくり

(1) 地域連携、社会貢献活動によりコミュニティーの一員としての意識を高める

(2) 広報活動を充実させ、学校の教育活動を発信する

(3) 業務の精選と学校組織(教員体制、運営方法等)の再構築

(4) 危機管理体制の充実をめざす

※ 地域連携活動、社会貢献活動を充実させ 2021 年には満足度 80%以上となることをめざす

※ 学校教育自己診断の学校安全、防災についての項目の肯定的評価が 2021 年には 80%となることをめざす

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 2 年 1 月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>・学校へ行くのが楽しい、部活動に活発に取り組んでいる、体育祭や文化祭に楽しく参加しているなどの学校生活そのものについての評価が年々向上しており、学校生活が充実していることがわかる。</p> <p>・授業の工夫や興味関心に応じた進路選択など、教育活動のもう一つの柱である学習指導の面でも肯定的評価が 10%以上伸びており、これまでの授業改善の取り組みが進んできたことを実感できる結果が得られた。</p> <p>・保護者からも学校生活全般については 90%前後の高い評価を得ることができた。本校の支持されている点を大切に今後も学校運営を行いたい。</p> <p>・今年度新しく「授業では意見を述べたり深く考える機会がある」「授業を受けることによって論理的に文章をまとめる力が身についた」という項目を追加した。これらについては生徒の肯定的評価が約 70%となっており、まだ十分なレベルにないことが分かった。今後も教育活動に論理的思考力を育む活動を継続し、深く考え論理的に伝える力の向上に努めたい。</p>	<p>【第 1 回 6 月 26 日実施 協議概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究学習の進め方…主体性の育成が目的。ティーチングからコーチングへ。生徒が何を求めるかが大切。失敗も含め経験を沢山積ませる。</li> <li>・地域連携により教員の負担を減らすとともに生徒たちの学びへの欲求に繋げたい。地域は進んでバックアップする。今後も継続した地域連携をめざして欲しい。</li> </ul> <p>【第 2 回 11 月 19 日実施 協議概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究の時間について</li> <li>①ねらい…身近な課題で社会に役立つ課題を自分で見つけ調べ、新しい提言をする。1 年次「知る」、2 年次「深める」、3 年次「深化させる」をテーマとする。</li> <li>②具体案…SDGs の課題の活用はどうか。様々な人たちのコミュニティーの中で論理的思考力が鍛えられるのではないかと。地域の関わりをより密にする必要がある。</li> </ul> <p>【第 3 回 12 月 25 日実施 協議概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度学校評価、令和 2 年度学校経営計画について承認</li> <li>・学校教育自己診断を PDCA がまわるように活用してほしい</li> <li>・自分で考えて主体性をもって行動できるような生徒を育てる教育内容の充実を期待する。</li> </ul>

## 府立北千里高等学校

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 主体的に学ぶ姿勢、探究心の育成	<p>(1) 主体的に学ぶ姿勢、学ぶ喜び探究心を育む</p> <p>ア 「教科の魅力伝える・生徒の意欲を引き出す・これまでの成果を活かす」授業改善の実践</p> <p>イ 生徒・保護者・地域の期待に応える教育課程の編成と実施</p> <p>(2) 自己実現の達成を図る</p> <p>ア 「総合的な学習の時間」「総合的な探究の時間」の充実</p> <p>イ 生徒の多様な進路選択に応える</p> <p>ウ 自学自習する姿勢を育み、主体的な学習者を育てる</p> <p>(3) 英語4技能の充実</p> <p>ア 少人数・習熟度別授業と英語力の測定</p> <p>イ 「英語力」を高める取組みの実施</p>	<p>(1)</p> <p>ア 授業改善 PT を中心に授業改善に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教科の魅力」が伝えられるよう授業を工夫し、生徒の学習意欲の向上をめざす</li> <li>・授業や考査において論理的に考え文章化する力の育成に取り組む</li> <li>・生徒同士が対話的に学ぶ授業に取り組む</li> <li>・相互授業見学週間、授業充実のための教員研修を実施し、教員間相互の授業の充実を図る</li> </ul> <p>イ 新学習指導要領を見据え、本校の教育目標にふさわしいカリキュラムを作成する</p> <p>(2)</p> <p>ア 総合委員会を中心に「総合的な探究の時間」の充実を図り、探究する姿勢を育む</p> <p>イ 大学見学の実施、外部人材を活用した研修を実施し、キャリア教育を充実させる</p> <p>ウ 年間を通して「学習強化週間」「土曜学習会」を実施し、生徒の主体的な学習を支援する</p> <p>(3)</p> <p>ア 英語学力調査を実施し、4技能の向上をめざす</p> <p>イ 英語暗唱大会、スピーチコンテストを実施し、伝える力、話す力、聞く力を育成する</p>	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育自己診断「授業を工夫している」の評価の向上 (H30:67%⇒70%)</li> <li>・<b>新</b>学校教育自己診断「論理的に考え文章をまとめる力が身についた」肯定的評価 60%以上</li> <li>・学校教育自己診断「授業では意見を述べたり深く考える機会がある」肯定的評価 60%以上</li> <li>・授業見学週間の実施 (2回)、教員授業研修の実施 (1回) (H30 実績の維持)</li> </ul> <p>イ カリキュラム素案の完成</p> <p>(2)</p> <p>ア 探究学習の実施 (1,2年)</p> <p>イ 大学見学 (1年次:1回) 進路講演会 (各学年1回) (H30 実績の維持)</p> <p>ウ 学習強化週間、土曜自習室の実施 (年間5回) (H30 実績の維持)</p> <p>学校教育自己診断「学習時間を確保するよう努力している」(H30:61%⇒65%)</p> <p>(3)</p> <p>ア 英語学力調査の校内実施 (1,2年) (H30 実績の維持)</p> <p>イ <b>新</b>生徒アンケート(教科独自)「英語を話す力、聞く力が向上した」肯定的評価 60%以上</p>	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「授業の工夫」は肯定的な意見が 80%となり、生徒の意欲を刺激する授業となった。(◎)</li> <li>「意見を述べる、深く考える機会」としての肯定的評価は 76%であった。(◎)</li> <li>「論理的に文章をまとめる力」については 69% (○)</li> </ul> <p>授業見学週間の実施(2回)、授業に関する研究協議(5回)実施できた。(◎)</p> <p>イ 素案が完成したので、次年度以降、細部について検討を進める。(○)</p> <p>(2)</p> <p>ア 探究学習は計画通り実施できている。更なる発展充実の計画を進めている。(○)</p> <p>イ 大学見学、進路講演会は実施できた。(○)</p> <p>ウ 予定通り実施できた。(○)</p> <p>「学習時間の確保」についての肯定的評価は 71%、昨年度の 10%増となり、目標を達成することができた。(◎)</p> <p>(3)</p> <p>ア 英語学力調査は文科省の発表により中止することとなった。(△)</p> <p>イ 英語暗唱大会、スピーチコンテストは予定通り実施できた。話す力の向上 (1年 62%、2年 66%) 聞く力の向上 (1年 72% 2年 73%) と生徒は英語力の向上に一定の成果が見られた。(○)</p>
2 豊かな人間性の育成	<p>(1) 人権感覚を育成し、他者理解のできる真のリーダーとしての資質を育む</p> <p>(2) 国際交流を推進し、国際感覚を備えた人材の育成を図る</p> <p>(3) 集団の中での役割を意識し正しく行動できる姿勢を育てる</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年ごとのテーマ別研修を実施し、生徒の人権意識を高める</li> <li>・研修を通して、生徒の SNS 活用力を育てる</li> </ul> <p>(2) 英国語学研修、台湾姉妹校交流を継続し、国際感覚、語学学習への意欲を高める</p> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の加入を推進し、互いに切磋琢磨しながら人間性を育てる</li> <li>・遅刻防止週間を実施し、時間を大切にすることを意識づけを行う</li> </ul>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年ごとの生徒対象研修実施 (1回)、学校教育自己診断肯定的評価 85%以上 (H30:84%)</li> <li>・生徒対象 SNS 研修の実施 (1回)</li> </ul> <p>(2) 国際交流の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートによる生徒満足度 90%以上 (高い水準での維持) (H30:100%)</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動加入率 90%の維持</li> <li>・年間遅刻数 2400 件以下</li> </ul>	<p>(1)</p> <p>学年別人権研修に加え 1,2 年については「めぐみ」を視聴し、拉致問題を扱った。SNS 研修も生徒対象に 1 回実施できた。肯定的評価 90%(◎)</p> <p>(2)</p> <p>イギリス語学研修、6 月の姉妹校交流(本校にて)、12 月の姉妹校訪問と予定通り実施することができた。参加者も昨年度より増加し、充実したものとなった。(満足度 100%) (○)</p> <p>(3)</p> <p>部活動加入率は 90%を維持、生徒は熱心に活動している。年間遅刻回数は 2372 件であった。(◎)</p>
3 地域から信頼される学校づくり	<p>(1) 地域連携の推進、社会貢献活動により、コミュニティーの一員として自覚を高める</p> <p>(2) 広報活動を充実させ、本校の教育活動を発信する</p> <p>(3) 業務の精選、学校組織の再構築</p> <p>(4) 危機管理体制の充実</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹あかり、クリーン作戦、地域の秋祭り等の地域連携活動を推進する</li> <li>・新たな地域連携活動等の企画・実施</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Web ページの更新、メールマガジンの発行の充実を図り、学校情報を積極的に発信する</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノークラブデーの確実な実施により、生徒・教員共に時間活用を進める</li> <li>・学校便覧を作成し、業務の見える化を図る</li> <li>・業務を見直し、学校全体として時間外労働時間を減らす</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害備蓄品の準備、保管場所を整備する</li> <li>・災害に対する教職員研修を行い、災害対策への意識を高める</li> </ul>	<p>(1) 地域行事への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度と同程度の参加者数、満足度 80%以上 (H30:89%)</li> <li>・新たな地域連携活動等の実施</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育自己診断 情報発信についての保護者満足度の維持 (H30:71%)</li> <li>・メールマガジンの定期発行 (週 1 回)</li> </ul> <p>(3) 学校教育自己診断</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>新</b>「週 1 回のノークラブデーの確保」「部活動休日 104 日以上の確保」</li> <li>・学校便覧の作成</li> <li>・時間外勤務時間の縮小</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄品の整備、確保</li> <li>・教職員研修の実施 (1 回)</li> </ul>	<p>(1)</p> <p>地域行事への参加は予定通り実施。参加者は 800 名を超えた。参加者の満足度は 90%と高い評価が得られた。(◎)</p> <p>新規には吹田市主催の健康イベント「チャレンジ DAY」にスタッフ協力を行った。(○)</p> <p>(2)</p> <p>情報発信の充実を図り、積極的に発信してきた。保護者満足度 79%であった。(◎)</p> <p>(3)</p> <p>ノークラブ DAY の実施については肯定的評価が 84%であった。100%をめざし再度、教職員への制度の周知を図り、取組みを進めていく。(△)</p> <p>学校便覧により届け出業務や学校のルールがわかりやすくなった。(○)</p> <p>時間外労働時間は 3 月現在、100 時間超延べ 8 月(昨年度 18 月)、80 時間超のべ月数 25 月(昨年度 41 月)と大幅に減少した。(◎)</p> <p>(4) 備蓄品&lt;食糧・水&gt;の整備はできた。教員研修は実施できなかった。(△)</p>